会議所のうごき

ChatGPT入門
―商人塾を開催―

10月18日、Shikama.net代表の志鎌真奈美氏を講師に迎え「ChatGPT×SNSの活用で販促力をアップ」と題した講演会を開催し、ChatGPTの基礎知識や、安全かつ効果的に業務に活用する方法を学びました。

講演の中で志鎌氏は、ChatGPTは便利だが、第三者の権利侵害には注意が必要だ。使用する際は個人情報や機密情報は入力しないようにし、リスクを避けるためにチェックツールを活用することも対策の一つであることを述べました。

その後、実際にChatGPTを用いた演習が行われ、例文を使って投稿文や投稿スケジュールなどを作成しました。

最後に志鎌氏は、文章の構成や翻訳など苦手なことは生成AIに任せ、楽しんでSNSを使ってほしいと話し、受講生からは「ChatGPTは初めて使った。公私にわたり活用したい」との声が聞かれました。

参加者は46名

ショート動画で魅せる発信術
―ショート動画活用セミナーを開催―

11月10日、マーケティング　広報・PRの専門家　黒木勝巳氏を講師に「売上・集客UPにつなげるSNS時代のデジタルマーケティング・販売促進セミナー　はじめての！ショート動画活用」を開催しました。

はじめにショート動画を活用したデジタルマーケティングの成功例やメリットが紹介され、消費行動の全体像を踏まえたSNS戦略についてなどの説明が行われました。

続いて、ショート動画制作の基本や効果的な発信のコツ、各SNSの特徴と最短で成果を出す活用術について、実例を交えて解説がありました。

実例を示す黒木氏

最後に、ショート動画の撮影技法が紹介され、参加者は実際にカメラの設定を変更しながら撮影のコツを学びました。参加者からは「自社でもショート動画を活用して効果を出したい」との声が聞かれました。

参加者は42名

団体だより　女性会

優秀賞を頂きました！
―全国大会へ参加―

10月10日、東京都で開催された第57回全国商工会議所女性会連合会全国大会へ副会長の落合氏、立花氏、中尾氏と関監事、嶋田理事の6名で参加しました。

来賓挨拶として小池都知事が登壇され、今年発表されたジェンダーギャップ指数が148ヶ国中118位であり、特に政治分野や経済分野において女性登用が少なく、まだまだ伸びしろがあると述べられました。

各地より、1360名の女性経営者がホテルニューオオタニに集結し、東京女性会さまのおもてなしを受けながら、交流を深めてまいりました。全国の女性会メンバーの華やかで明るい雰囲気に影響を受け、大変満たされた時間となりました。

参加した6名

続いて、全国商工会議所女性会連合会表彰が行われ、加古川女性会の「チャリティー靴下まつり」が、全国商工会議所女性会連合会会長賞の優秀賞を頂きました。選考理由として、地場産業の振興や地域経済の活性化、福祉団体向けに商品の販売機会を提供することによる多様な人材の活躍に寄与するなどの取り組みを挙げていただきました。そして何よりも、29年間という長期間にわたり事業として開催されていること。チャリティーバザーの売り上げは福祉団体へ毎年寄付を行っていることを評価していただきました。

この受賞は、女性会歴代の会員さんたちに、感謝しかありません。

ますます、魅力ある催しとして「靴下まつり」を引き続き開催して参ります。今回の大会参加は、感慨深いものになりました。

（会長　善積　美代子）

表彰を受ける善積会長

表彰状
靴下まつり会場で展示され、開会あいさつでは来場者から大きな拍手をいただきました。

団体だより　女性会

女性が活躍する社会
―県連女性会　交流会に参加―

10月8日、ホテルモントレ姫路で開催された第32回兵庫県内商工会議所女性会交流会へ参加しました。

式典に引き続き、姫路市教育長の久保田智子氏が登壇し「女性が活躍する社会～仕事と子育ての両立について～」をテーマとした講演会を行いました。アナウンサーから転身された彼女ならではの目線で、女性管理職の少ない現状への意識改革や質の向上など、女性が楽しく過ごせる人生を目指していきたいと述べられました。

参加メンバーでの集合写真

アトラクションはボーカルデュオ「BLENDY」による「よみがえる青春のメロディー」をテーマとした歌謡ライブを聴きながら、県内様々な女性会の方々のエネルギーを感じる時間を過ごしました。

今年は姫路商工会議所女性会が開催準備をされ、こまやかな心遣いを感じる交流会でした。

参加者は7名

（理事　肥塚　恭子）

感謝の気持ちを込めて
―第29回靴下まつりを開催―

11月11日、加古川商工会議所女性会チャリティー靴下まつりを加古川プラザホテルにて開催いたしました。

お天気にも恵まれ開場前から大勢のお客様にお並びいただきました。兵庫県靴下工業組合　鷲尾吉正理事長、善積美代子女性会会長のあいさつに続き、ご来賓の方々のテープカットでスタートいたしました。

加古川を中心とした地場産業である靴下メーカーによる販売ブース、福祉団体による販売ブースと女性会メンバー事業所の販売ブースが集まった靴下展示即売会場では、午前中は女性会のバザー、午後からは大抽選会が行われ、どのブースも大盛況で賑わいました。

空クジなしの抽選会

また、喫茶コーナーでは飲み物のほかにパンやお弁当、お菓子などの販売があり、お買い物の合間にまったりと楽しんでいただけました。

今年の靴下まつりを例年以上に楽しんでいただけないかと考え、大抽選会に29回にちなんだお肉のダブルチャンス抽選とマジックショーをドッキングさせました。加古川商工会議所と青年部にご協力いただき加古川牛を5名様分ご用意。マジックショーは販売会場が空になるほどの注目を集め、カードマジックによる抽選で無事に5名の当選者が決まり、多くの来場者の方に楽しんでいただけました。

大人気のマジックショー

この度、兵庫県靴下工業組合と一緒に続けてきた「チャリティー靴下まつり」が全国商工会議所女性会連合会会長賞を頂くことができました。これも長年支えてくださった加古川商工会議所はじめ地域の皆様のご支援のおかげと心より感謝申し上げます。第30回靴下まつりに向け、より工夫を重ね喜んでいただけるよう努めてまいります。ありがとうございました。

（副会長　中尾　るみ子）